

六百キロへの道

一所懸命

七月十日(日)を初戦に、町田市小野路球場、スリーボンドスタジアム八王子、多摩市一本杉球場において夏季大会が行われました。今年は去年とは違い、吹奏楽部とチア部の応援がある中で行うことができ、保護者の方々の始め、多くのOB・OGの方々など、本当にたくさんの方が応援に駆けつけてくださいました。四回戦敗退という結果で、惜しくも目標としていたベスト16には届きませんでした。

残りの夏は新チームを始動し、秋季大会に向けてチーム一丸となって取り組んでいきます。

初回から中島、市川がHで出塁、二つのBにより先制。八回には武藤のBから始まり、市川の三塁打などで五点を追加し勝利を収めた。

東大和南	2	0	1	0	1	0	1	5	10
調布北	0	2	0	0	0	0	0	0	2

2021.08.04

東大和南高校
野球部発行

編集 佐藤 拓海 鳴井 優音
本間 留衣 蛭田 唯心
山田 野乃

東大和南	0	2	3	9	0	14
多摩	0	0	2	0	0	2

二回三回ともBでランナーをため、先制。四回には七本のHにBが絡み、一挙九得点。十二点差五回コールドで勝利。

東大和南	5	5	0	6	8	24
大東学園	0	0	0	0	0	0

一回戦からすべての試合でコールド勝ち、ノーエラーゲームを達成することができた。

東大和南	1	0	0	0	0	0	0	0	1
駒場学園	0	1	0	0	4	0	2	1	8

初回には一点を先制するも、守り切れず大差で敗北を喫した。

H 三年間を終えて

主将 福田 康斗

入学したときからコロナ禍で、従来の高校野球は絶対に経験できていません。ただ、その中でもできる最大限のことはやってきました。満足に練習ができない中、目標に向かって一生懸命に取り組めたのは一つの成果だと思います。この経験を糧に今後の人生を歩んでいきます。

部長 古屋 輝樹

コロナ禍で色々な制限がかかって、最後の高校生活とは違いました。その中でも最後の大会を行うことができ、沢山の方に応援に来て頂いたことはとても貴重な体験となりました。これからは恩返しという意味で野球に携わっていいこうと思います。

三年 市川 由翔

三年間を終えて私は高校野球の大変さと魅力を感じることができました。入部当初、わたし

たちの代は人数が少なくやっていけるのかと不安でしたが少ない人数でも力を合わせれば戦えることがわかりました。また、部活と学業の両立にとっても苦勞しました。このような経験をこの先卒業しても活かしていきたいです。

三年 鈴木 啓太

南の野球部では様々な経験をさせてもらい、野球以外のこともたくさん学ぶことができました。自分は改めて仲間の大切さに気付きました。それはこのメンバーがいたからだと思っています。本当に今の自分がいるのは皆さんのおかげです。辛いこともありましたが、充実した三年間でした。

三年 仁平 愁人

実際に部活をできた期間は二年もなかったですが、いろんな経験ができて充実した期間でした。南でなければ何ポジションもやらせてもらえなかっただろうし、左打ちや横投げにも挑戦していなかったと思います。先輩の大会に出られたことも最後まで続けられたことも先生や仲間があつてのことだと思うのもとても感謝しています。三年間ありがとうございました。

三年 本木 雅人

自分は、高校野球で多くの大切なことを学ぶことが出来ました。謙虚さや努力の大切さなど、挙げるとキリがありません。その野球で学んだことを今後の人生にも活かして行きたいです。すごく楽しい三年間でした。

三年マネージャー 栗田 心美

私は37期選手を始め、先輩後輩、大人の方々など本当に「人」に恵まれた部活動生活だったと思います。始まりも終わりのコロナ禍で合宿はなく、部活動停止期間もあったにも関わらず、こんなに濃く楽しく引退が名残惜しいと思えたのは間違いない周りの人の支えがあつての事です。夏大では吹部、チア部始め多くの方々からの応援の中四回もベンチに入り、スコアが書いて本場に幸せでした。野球部で学んだ事、今後活かして行こうと思います。本当にありがとうございました。

H 新チームになって

主将 菊池 颯人

新チームでは夏ベスト10を目指しています。全員が忍耐強くどんな状況でも一挙手一投足に力を入れていきます。先輩方を超えるために新しい東大和南の野球部を作っていきます。まずは秋大会本戦に出場し自分たちの野球をしたいです。

部長 渡邊 大翔

自分は新チームになり最高学年になりました。自分は今まで自分の役割とは何かを考えて行動しようと思いプレーしてきました。今度は自分達の代になったので自分の役割というものも考えて行動しながらもチームの中心となる選手になれるように練習してプレーできるようにしていきます。

二年 川崎 心優

部活での最高学年になった。この夏で一年以

上一緒に練習してきた先輩たちが部活を引退した。今まで頼もしく追っていた背中、今度は自分たちが成り代わる。そう決心した。それが伝統なのだ実感した。「誰かのために頑張るんだ」と先輩は言っていた。だけど僕は自分の「楽しい」を忘れない。それが誰かのために頑張る、ということ。自分の楽しんでいる姿で誰かを楽しませるために。それが高校野球だと思う。

二年 栗田 晴矢

夏の大会を終えて西東京大会四回戦進出という結果で終わりましたが、自分のミスで出したランナーが帰ってしまうなど、個人的には悔しさが多い試合でした。三年生とは一緒に野球をできて本当に良かったと思います。一年生、二年生はこの悔しさをバネに新チームに活かしていこうと思います。

二年 高島 一鷺

私たちが新チームとなつての目標はベスト16入りです。36、37期生の先輩はベスト32と、素晴らしい結果を残しました。しかし、我々東大和南の本来の目標はベスト16です。な

で、秋、春、夏大会と、残すところあと三大会で、必ず悲願のベスト16を達成します。

二年 田中 孝志郎

新チームになり、自分達が主力になりました。一年生を引っ張っていけるような、二年生になれるようにします。まず秋で、本戦に出ることができるよう頑張ります。

二年 田邊 翔大

先輩方が引退し、私は最高学年としてチームを引っ張っていく立場になりました。今までチームに貢献できていませんでしたが、これからはプレーでチームに貢献したいと思います。そのためにはまず試合に出て、それから結果を残していき、秋の大会までに自分の立ち位置を確立させます。

二年 中島 至悠

新チームになって、ベスト16になるために、人間性を磨いていきたいと思っています。今までは自分のことで精一杯になってしまい、チームのことは先輩に頼ってしまっていました。もう

これからは自分たちの代なので、自分がチームを導いていけるようにしたいです。

一年 新井 士雄

新チームは守りを重視しているので、堅守で接戦で勝っていける試合をし、ノーエラーゲームを意識して、秋の大会はベスト16が目標なので、そこへ向かって、日々の練習を一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

一年 石綿 駿征

新チームになって東大和南の野球部の伝統は残しつつ、新たな取り組みにどんどん挑戦していきたい。また学生生活からしっかりと他の生徒の手本となり、夏大会ではベスト16という目標を達成したい。

一年 加藤 颯

去年の悔しさをばねにして、苦しい状況の場面でも粘り強く耐えて、自分たちの野球をする。目標であるベスト16のために自分たち一人一人の役割を徹底してベンチワークで勝つ。自分に足りないものは何なのかを考えて

夏まで自分を磨く。	
一年 小平 伯	三年生が引退して一、二年で合計2人の選手がいるチームになりました。まだまだ自分たちは未熟ですが、都立だからという言い訳をせずに都立だからこそできる野球をして自分たちの目標であるベスト10に行きたいです。
一年 杉本 航希	前チームはベスト20という結果でしたが、チームとしては甘さがありました。新チームではスローガン「忍耐」を胸に、辛いことでも逃げずに向かっていくことでチームの結束を高め、全員が同じ方向を向いてベスト10に壁を越えられるように頑張っていきます。
一年 莊司 開喜	私は野球未経験者という立場でこの部活に入部し、わからないことだらけで人に頼ってばかりの三か月でした。しかし新しいチームになっても足を引っ張ってしまうようではいけないので、率先した行動や先を見据えた行動を心がけ、チームを支えられるような存在になっていきたいです。
一年 高木 暁斗	新チームになって目標であるベスト10のため自分たち一年生がどんどん底上げしていきたい。今までは少なからず甘えがあった。しかし、これからは先輩たちについていくではなく追いついていく気持ちでチーム一丸となって目標へ向かっていきたい。
一年 野島 敬太	新チームになって、先輩方が築いてきたことを引き継いでいくことももちろんですが、自分たちのかたちを大切にしたいと思っています。チームが目指している目標に向かって、意思を貫き、チームの一つの歯車となって頑張りたいと思います。
一年 橋本 拓真	僕が掲げる目標は秋大会でキャッチャーとして試合に出ることです。それを達成するためにはスローイングや、ブロックで重要な下半身の
一年 武藤 泰知	今回の大会ではメンバーに選んでもらったのにチームに貢献できず悔しい思いをしまし

た。この気持ちを持って果たせなかったベスト16という目標を達成できるよう練習に取り組んで行こうと思います。

一年 村上 惊之丞

引退した先輩たちが残してくださった東大和南の野球部としての伝統を残しながらも、新チームとして新しい風を吹かせられるような取り組みを行っていききたい。また、学校生活でも野球部が学校全体を引っ張っていきけるような存在になっていきたい。

二年マネージャー 佐藤 拓海

新チームになり、自分たちの代となりました。去年よりは頼りがいのあるマネージャーになれたと思います。しかしまだまだ至らないことが多く、選手と共によりスキルアップをしていきたいです。マネージャーとしてこのチームで最後まで全力で頑張っていきたいと思います。

二年マネージャー 本間 留衣

チームスローガン「忍耐」にある通り、全員

が自分に勝てるようにすること、チームの目標達成ができるよう粘り強く頑張ります。チームのためになることを探して行動していきたいです。

二年マネージャー 山田 野乃

私は、昨年の先輩方の姿を見てきて、自分から積極的に行動することや、自分が持つ意見を発信していくことの大切さなどたくさんのことを学びました。新チームではその学びを感じたことを活かしていきます。また、謙虚に誠実にチームのために、を意識して選手を支えていけるよう努力します。

一年マネージャー 鳴井 優音

部活に入って約四か月が経つてもまだ先輩に頼ってしまうことがたくさんあるので、これからは一人でも仕事ができるように、仕事の細かい内容もちゃんと覚えて、自分から動けるように頑張りたいです。

一年マネージャー 蛭田 唯心

新チームになって、自分で考える。聞く。

行動する。を大切にしていきたいと思っています。今まではすべて頼ってばかりでしたがこれからは野球部の一員という自覚を持ち分らないことも多いですが、たくさん学んで一つ一つ丁寧に全力でマネージャーとしての仕事を頑張っていきます。

新入部員について

夏季大会が終わり新チームになってから、東大和南高校野球部に新しい仲間が増えました。

一年 福塚 宗大（ふくづか そうた）君です。これから、チームの目標に向けて一緒に切磋琢磨していきます。

伝言板

夏季大会では、保護者の方々、OBやOGの方々など多くの方からたくさんのお援をいただきました。また、大会当日にはゼリーやスポーツ飲料の差し入れをいただきました。この場をお借りして、部員一同厚く御礼申し上げます。